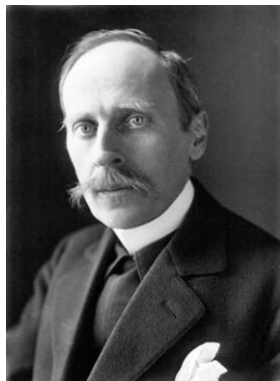


『Mind Charging』

第 176 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 12 月 12 日

ロマン・ロランの名言



It is the artist's business to create sunshine when the sun fails.

太陽がないときには、それを創造することが芸術家の役割である。

非常に“カッコいい！”と感じる言葉です。『ないのなら創ればいい』というクリエイター的な発想と、そこに光の象徴のような太陽を例に出すことで、何かを生み出す“誕生”と、新たな世界の“創造”という光を感じさせるところはさすがの一言です。そして、私たちにも同じことが言えることや、これまでもそうしてきたことに気づくことができました。

これまでも、芸術家に限らず様々な分野に精通した人々の努力によって様々な“なかったもの”が生み出され、便利になったり新たな知識として浸透していくことによって人々の生活や学習などに役立てられてきました。みなさんが学校や部活動で学んだことも、学ぶ前までは知らなかったことやできなかったことです。まだまだ私たちが知らないことやできないことは非常に多くあると思います。その中にはそれでも困らないものも多くあるでしょう。しかし、『だから知らない(できない)ままでもいい』と思うのか、『だけど吸収しておこう』と思って挑戦するのかがその先の人生の充実度は大きく変わるのではないのでしょうか。

知識や道具などに限らず、人々が幸せに暮らしていくための文化や習慣などにおいても同じです。その中の一つで正智深谷が誇るものは『挨拶』ではないでしょうか。特に朝のみなさんの元気な挨拶は、1日の始まりをポジティブな気持ちでスタートさせてくれます。今後もみなさんのポジティブなパワーで学校に太陽のような明るい光が射し続けるようにしていきましょう！

(編集委員：入試広報室 鈴木)

ロマン・ロラン(Romain Rolland, 1866年1月29日 - 1944年12月30日)は、フランスの作家。理想主義的ヒューマニズム、平和主義、反ファシズムを掲げて戦争反対を世界に叫び続け、国際的に多くの知友を持った。フランス中部ニエーヴル県のクラムシー出身。父エミールは公証人で、母アントワネット＝マリーの家系も公証人であったことから貧しい環境ではなかった。7歳からクラムシー中学(Collège de Clamecy)に通うものの、1880年に一家はパリに転居した。翌1881年からサン＝ルイ高等中学校(Lycée Saint-Louis)に入り、18歳であった1882年にルイ大王高等中学校に転校する。(Wikipedia 参照)